

アイノコセンダングサ (*Bidens pilosa* var. *intermedia*)

早川 直美

(トトロのふるさと基金 調査部会)

2003 年ごろ狭山丘陵の一面で畑を耕作し始めたころ、南向きの畑はすぐにアメリカセンダングサ (*Bidens frondosa*) が繁茂した。赤黒い茎で頑丈そうな姿、黄色い花弁で平たい種子をつける、当時どこでも見られた外来種である。毎年、少しでも手を抜くと繁茂していた。

10 年ほどたち、繁茂することは同じだが花弁のないものが増えてきた。コセンダングサ (*Bidens pilosa* var. *pilosa*) は以前から見られたので気にしなかった。そのうち、全体の雰囲気柔らかい感じになり、やっと赤黒い茎を見かけないことに気がついた。種子が細長いコセンダングサばかりが繁茂していた。周辺も探したが、アメリカセンダングサはほとんど見つけられなかった。

さらに数年たつと、そこに白い花弁を見かけるようになった。白い花のコシロノセンダングサ (*Bidens pilosa* var. *minor*) を見つけると嬉しいし、一度だけ、畑の近くで大きな白いオオバナノセンダングサ (*Bidens pilosa* var. *radiata*) を見た時はドキドキした。しかし、今見るのは舌状花になりかけの筒状花や歯抜けで、咲いているというイメージはない。意識してみると周りもそういう株ばかりである。そのうち基金のトラスト地でも見るようになった。変異と思いつむには無理がありそうだ。手元の図鑑に掲載はない。新しく図鑑を買い直したところアイノコセンダングサ (*Bidens pilosa* var. *intermedia*) が掲載されていて合点した。コセンダングサとコシロノセンダングサの交雑種で、分布は不明と記述する図鑑もあり、急な広まりに戸惑いが伺われる。たった 20 年で植物が入れ替わる速さとその静かさに驚いた。名前に”アイノコ”がつく種も増えているようだ。国内で生まれたのに外来種とは不思議な感じもする。



図1 アイノコセンダングサ